



ちょっとお出かけ い〜な旅
2018/7/11 (水)

平成 30 年度 第 4 回ツアー 入笠テイ沢の沢登りと三つの湿原の花めぐり

い〜なガイドの会
い〜な旅チーム
池上 龍子

行程

テイ沢
大阿原湿原
入笠湿原
池の平湿原

今回のい〜な旅は、7月11日、マイクロバス3台を連ねて参加者60人で開催しました。伊那市役所から国道152号を走り、千代田湖経由で入笠へ足を踏み入れました。

牧場に入ると映画の舞台ともなった「乙女が原」など景色の良い場所が広がり、道にはマーガレットが咲いていて我々を歓迎してくれているようでした。

カラマツに絡んだ白い葉のマタビやツルアジサイの白い花が美しい林道を走り、テイ沢登り口で下車、沢登りの始まりです。

コケむす沢に勢いよく流れる水音を聞きながら、丸木橋を渡り、滑りやすくなった石や岩がごろごろしている場所では声を掛け合って登っていきます。

目の前に迫る大きな岩、日差しが差し込んで輝くシダ類、沢筋に咲くハリブキ、サワギク、クリンソウなどを眺めながら大阿原湿原に出ました。

大阿原湿原は3万年前の秩父古生層が入り込んでいる所で、入笠にある湿原はどこも高層湿原で、すでに乾燥度が高く老年時代に入っているようです。周回できるように木道が整備され、貴重な植物が多々ありモウセンゴケが有名です。コケと名前がついていますが、葉一面に毛がありその先端から甘い粘液を出して虫を捕まえて生きている食虫植物です。他にもウマノアシガタ、サギスゲなどが咲いていました。

入笠湿原で昼食を済ませ、思い思いに木道の散策を楽しみました。コバイケイソウ、ノハナ

ショウブ、ヤナギランなどが咲き始め「花の入笠」を楽しみました。

三つ目の湿原は池の平湿原です。ここは鎌倉時代後期に後醍醐天皇の息子で「信濃の宮」と呼ばれた宗良親王が晩年弟子たちと過ごす家を建てた時に池も一緒に作り、このあたりが「御所平」と呼ばれる由縁となったとか。その池が「池の平湿原」として現在も残り、レンゲツツジ等の植物も増え、淡紅色のイブキジャコウソウが咲き、あたり一面良い香りが漂っていました。

高原のさわやかな空気をいっぱい吸って、さまざまな花に触れ、いい気分です。帰路につくことができました。